



トマト編

病害虫注意報 2022年6月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

栽培終了時の残渣処理特集

コナジラミを外に出さないために

①有効薬剤を散布し、虫を死滅させた後に残渣を外へ出す

収穫直前散布おすすめ薬剤

モベントフロアブル 2,000倍 前日/3回 マルハナバチ30日
+アルバリン顆粒水溶剤 2,000~3,000倍
前日/2回 マルハナバチ14日以上

ハウス外に出た害虫は露地で繁殖して再び次作で飛来・侵入します！
次作のための防除をしっかりと行いましょう！



②ハウスを1~2週間締切、ハウス内の温度を50℃以上に上げて蒸し込む

※温度を上げ過ぎると塩ビ管の糊が溶けたり、資材が変形する恐れがあります。

土壌消毒のポイント

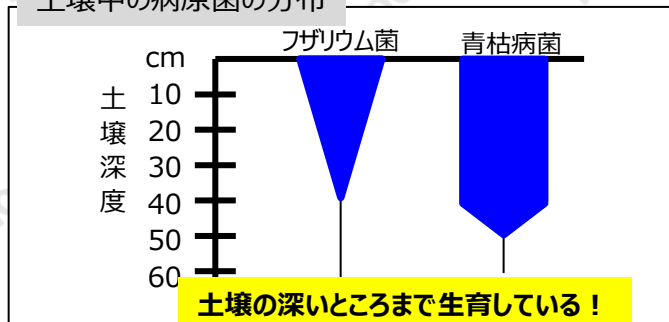
①砕土を丁寧に行う

・・・固まっている土の内部は消毒されません！

②被覆を必ず行う

・・・被覆を行わないと薬剤が抜けやすくなり、
表層しか消毒できません！

土壌中の病原菌の分布



バスアミド®

微粒剤

青枯病対策でバスアミドを使用する場合

- ①バスアミドの散布・混和・灌水チューブの設置(下層部に存在する菌に対して効果不足になることから30kgよりも**60kg**が望ましい)
- ②被覆をしっかりとる。
- ③灌水の開始
(圃場から水が出ない様に注意する。)
⇒目安として、100~150L/m²
- ④定植作業の日程に合わせて被覆をはがし、ガス抜きをする。
(被覆期間の目安は3週間以上)



詳しい登録内容はお問い合わせください!!

バススタ液剤

地上部のみ枯らす

圃場周りの除草に!!

抑制期間が長く、さらに速効性!

使用量: 300~500ml/10a

収穫前日まで/3回以内
(雑草生育期定植前又は畦間処理)

圃場周辺の雑草が大きくなる前に散布し、
病害虫発生を抑えましょう!



ネマキック粒剤

- ・線虫の種類を問わず高い効果
- ・作の長い作物にも適した長期残効性
- ・土壌条件にかかわらず安定した効果

トマト: ネコブセンチュウ
15~20kg/10a

定植前/1回/全面土壌混和

線虫問題にケリをつける!



20kg/袋